

研修責任者等研修事業 都道府県名 (静岡県)

(教育担当者研修・実地指導者研修) ※施設の需要により両方を兼ねている

I. 研修の開催に関すること

1. 研修開催場所の箇所数 (1)
2. 研修開催場所の選定にあたって考慮したこと

(1).交通の利便性、
(2).昨年の実績から臨床での教育カリキュラムに精通している。

3. 研修開催回数 延べ(1)

II. 研修受講者に関すること

1. 研修受講者数等(実人員)
(開催回別に記入してください)

開催回	応募者数	受講者数
第1回	(59) 名	(58) 名
第2回	()名	()名
第3回	()名	()名

※ 必要な場合、行を追加してご記入ください

2. 研修受講者の所属施設

施設種別	応募者数	受講者数
病院	(59) 名	(58) 名
診療所	()名	()名
助産所	()名	()名
介護老人保健施設	()名	()名
指定訪問看護事業所	()名	()名
その他 ()	()名	()名

3. 研修受講者のうち、病院の場合の病床規模

許可病床数	受講者数
100床未満	(12) 名
100～200未満	(17) 名
200～400未満	(17) 名
400床以上	(12) 名

4. 研修受講者の職位

職位	人数
看護部長	(0) 名
看護副部長	(0) 名
師長	(4) 名
係長・主任	(8) 名
スタッフ	(38) 名
その他	(8) 名

その他:主任控、副主任、調整役など

※ 職位が貴県での区分と異なる場合には、貴県での区分に変更したうえで、ご記入ください

5. 研修の受講資格・選考基準等(施設類型や職位等による基準を設けているか否か等についてご自由にご記入ください)

- (1) 新人看護職員を採用する施設の実地指導者及びこれを担う予定のある者
(職位については問わない)
(2) 全日程を受講できる者
(3) 応募者多数の場合は、中小規模病院を優先する。

6. 事業の周知及び参加者募集方法(ご自由にご記入ください)

- (1) 看護協会の教育計画を各施設に配布。
(2) 看護協会のホームページに掲載。

その他の職種： 職種等(ICFマスターコーチ (2) 名
職種等() () 名
職種等() ()名

4. 1回の研修にかかる日数および時間数(日数、時間数の両項目に記載願います)

(1. でBと回答した場合には、1クールの総日数・時間数を回答願います)

(4) (24)

5. 4. の内訳 講義 (16) 演習 (8)
その他 () ()時間 オリエンテーション ()時間

IV. 事業の評価等に関すること

1. 事業の実施にあたって工夫した点(自由にご記入ください)

・ カリキュラムについては、国の示した新人看護職員研修事業のガイドラインや努力義務化に至るまでの背景を含め、実地指導者の役割について理解を深めたうえで、実践的な指導方法へ結びつけていくよう配慮して研修をすすめた。
・ 臨床の看護管理者などを講師とし、組織として取り組むべき教育体制や新人看護職員をとりまく現状について講義を行い理解を深めたうえで、具体的教育手法として、新人への接し方や指導方法、研修立案方法について学べるよう講義項目を設けた。
・ 基本的な看護技術指導よりも、「新人をどう育てるか」という視点で、コミュニケーション技術やカウンセリング等のメンタル面での講義を実施し、その後、グループワークを通して普段の指導内容を振り返り、自ら自己変容すべき点が整理できるような研修プログラムとした。

2. 事業の効果および評価に関すること(自由にご記入ください)

・ 受講者のアンケート結果では、各研修項目の理解度・満足度・達成度ともに80%以上の者が「できた」「大体できた」と回答。ガイドラインの内容や実地指導者の役割について知り、また、これまでの指導を振り返り、「指導とは、共に育つことが大事である」ことを理解し、個々の指導への考え方を深めることができた。

V. 事業の委託に関すること

1. 事業の委託 A 委託していない B 委託している 委託先(静岡県看護協会)